

キョンサン

韓国慶山市を訪ねて

- 2007年度（平成19年度）中学生韓国派遣記念文集 -



JIEA
城陽市国際交流協会

歡

日本國 城陽市 中學生 訪問團

迎

2008. 3. 26

慶山市



慶山市役所にて

派遣団の主な日程

目次

この文集は城陽市国際交流協会が主催した、2008年3月26日から29日までの三泊四日の中学生韓国派遣団に参加した市内中学生12人の感想文です。姉妹都市である大韓民国慶山市への訪問・交流を通して青少年に国際理解を高めてもらおうと当協会が1993年度から実施している事業です。すでに百十人の中学生がこの事業を通して慶山市を訪問しました。今年度も新たに13〜15歳の青少年12人が「近くて遠い国」大韓民国を訪れて文化や習慣に触れ、また慶山市の中学生と交流を通して得た感想が、隣国のパートナーと共に歩む未来への第一歩となることを希望いたします。

「韓国日記」・・・・・・・・・・	東城陽中学校	1年	大藤 理紗子	3
「韓国に行つて」・・・・・・・・・・	東城陽中学校	2年	奥田 頌太	5
「韓国への訪問」・・・・・・・・・・	東山中学校	2年	金田 一真	6
「私の一生の財産」・・・・・・・・・・	立命館宇治中学校	1年	金田 麻友香	8
「韓国派遣団に参加して」・・・・・・・・・・	南城陽中学校	2年	可畑 彰洋	9
「笑顔でつながる友達の輪」・・・・・・・・・・	東城陽中学校	2年	鈴木 公望	11
「IN韓国」・・・・・・・・・・	ノートルダム女学院中学校	3年	谷 亜弥	12
「中学生韓国派遣団に参加して」・・・・・・・・・・	東城陽中学校	2年	中井 博輝	14
「韓国派遣団に参加して」・・・・・・・・・・	城陽中学校	3年	中村 早希	15
「韓国派遣団に参加して」・・・・・・・・・・	北城陽中学校	2年	林 杏奈	17
「韓国派遣団に参加して」・・・・・・・・・・	北城陽中学校	1年	藤川 志帆	18
「韓国派遣団に参加して」・・・・・・・・・・	東城陽中学校	2年	三藤 満里乃	20
あとがき				22

引率・協会職員

派遣団団長・城陽市国際交流協会副会長

高橋 正典

大久保 雅由・馬場 牧子

2007年度派遣団の主な日程

3月26日（水）

城陽市役所を7時30分に出発
 関西国際空港から空路釜山金海空港へ
 バスで慶山市へ移動
 慶山市長表敬訪問・慶山議会訪問
 慶山市場見学
 慶山石井温泉ホテル泊

3月27日（木）

巴洞中学校にて学校見学・交流会・給食体験
 カップウィ登山
 慶山市立博物館見学
 慶山石井温泉ホテル泊

3月28日（金）

東大邱駅よりセマウル号（電車）で水原市へ移動
 韓国民俗村見学
 ソウルタワー見学
 世宗ホテル泊

3月29日（土）

景福宮・大統領府青瓦台・明洞見学
 ソウル仁川空港から空路関西国際空港へ
 城陽市役所に23時帰着

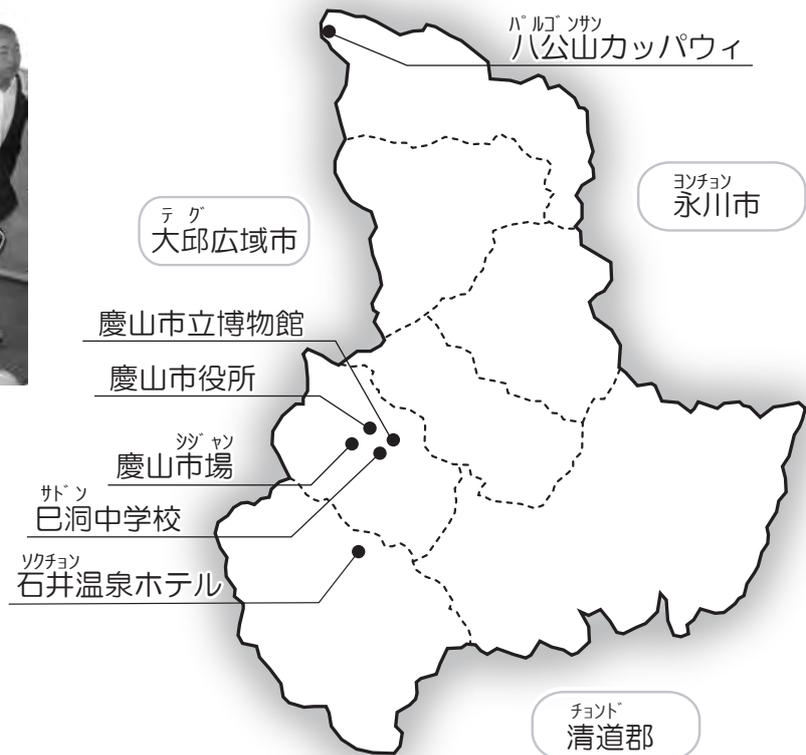


大韓民国



いざ出発!! 一関西空港にて

キョンサン 慶山市





「韓国日記」

東城陽中学校

1年

大藤

理紗子

この、派遣団として韓国に行った事は、私にとつてとてもいい経験になった。

—二十六日、朝。

朝、早起きが苦手な私をお母さんがおこしに来た。ねむい目をこすりながら階段をおりてすぐに用意して朝ごはんを食べた。

そしてすぐに麻友香ちゃんが家にむかえに来てくれて出発した。

集合時間までにまにあつて団長とかのお話が終わってバスに乗った。

3時間って書いてあつて『長いやろうなあ…』って思ってたけど一しゅんのようについた。

空港の所でご飯食べて飛行機に乗ろうと思つたらかなり、遅刻してたらしくてスチュワードスの人がめっちゃわかたつた。それで、みんなで本場に早く走つた。ギリギリ間にあつた。

座席にすわつたら通路はさんで麻友香ちゃんとなりやつてよかった。

久しぶりの飛行機やつたから少しドキドキした。機内でハッピーング映像みたいなやつをながさはつてとてもおもしろかつた。うしろの人が大笑いしていた。

—あつというまに韓国に到着。

いろんな韓国語で表示してある物がめずらしくてたくさん写真をとつた。

—慶山市長を訪問。

お土産をもらつて、慶山市の紹介のテレビを見た。その時、にんじんのジュースみたいなんのんで死にそうになった。もう見たくない…。

—慶山市場見学に行く。

韓国の女子学生に会つて、髪型がパツツンやつてとてもビックリした。

市場では魚とかキムチとか新鮮そうなものがたくさんあつた。中には、日本のアニメのクツとか私が知ってるのがあつてびっくりした。

—宿舎に着いた。

荷物をまとめたりした。床がオンドルって言うやつだったので顔がまっ赤になるほどあつた。

そして夜ごはんを食べに出かけた。料理はアヒル料理と書いてあつたので、食べたことない私はドキドキしていた。食べたら別に普通だった。普通の鳥肉って感じで食べれたけど、おかゆとか、日本とちがう味で、めずらしいと思つた。また宿舎に戻つて荷物の整理をして、お風呂に入り、ふとんをしき、友達の方に遊びに行つて、部屋に戻つて、夜は、いろいろ話しながら寝ようと思つたのに、つかれていたので、すぐ寝てしまった。

—2日目。

朝、部屋の電話にモーニングコールが鳴つて起床。朝ごはんを食べ、ちやつちやつと用意をすまし、バスに乗る。

—巴洞中学校に着く。

できたばかりの中学校というだけあつて、とてもキレイだった。この学校では、選択で日本語の授業があると言わはつて日本語の先生もいて、韓国は教育が発達してるなあと思つた。給食を食べて服も着がえまたバスに乗つた。

—カッパウイ登山する。

韓国の人と仲よくなりほぼ日本語か英語で会話して楽しく登山した。登山中は雪が降ったり大変だったけど頂上についた時は気持ちよかった。慶山市立博物館に行った時は韓国の歴史などが知れてよかったです。写真を撮ったり遊んだりするのもとても楽しかった。

巴洞中学の人とお別れをしてとてもさみしかったけど住所とかおしえたりしてまだ連絡とれるのはうれしいなと思った。

この日は、明日朝早くに出発と言う事があり荷物をまとめてすぐ寝た。

—3日目。

朝6時に荷物を持ってロビーに集まり、そして朝ごはんを食べた。

次にバスに乗り東大邱駅^{トシダグ}について長い間電車で移動。トランプしたりウノしたりあつというまだった。水原駅^{スウォン}に着いてまたバスで移動して韓国民俗村に行った。昼ご飯に食べた冷麺はかなり良かった。

—ソウルの宿舎に向かう。

行くと、ホテルの人がでむかえて重いキャリアバックを持ってすぐ助かった。慶山市とちがつてとてもキレイだった。

そしてソウルタワーを見学した。京都タワーと少しにっていたけどライトアップされてキレイだった。

ホテルに戻り荷物を整理して夜みんなでこわい話とかした。何気にこわすぎて夜ねれるか心配だった。

この日はお土産買ったりして楽しかったけどまたつかれてすぐに寝た。

—4日目。

朝ごはんがバイキングでめっちゃごうかだみんなよろこんでいた。

食べて荷物の整理をしてバスで出発。ソウル市内のいろんな所を見学した。



ツアーガイドの李福女^{イボクニョ}さんと一緒に



渡れるかな？ —韓国民俗村にて

最後の日だったから真けん目にやきつけた。ソウルの日本でいう原宿みたいな所に行った時はすごく楽しくて、いっぱい買った。あつと言うまに時間がすぎていって次は、キムチの専門店に行った。二〇〇〇ウオンの「王様キムチ」を二つも買った。

—そして空港に行く。

四日間料理が口にあわなかったりして大変だったけど本当にいい思い出になったなあと思った。(ガイドの)イさんとかいろんな人に別れをつげたりもしてさびしかったけど、ちがう国のよさがわかった。

韓国に行った事によって私の思い出は一生の宝物になった。



「韓国に行つて」

東城陽中学校 2年

奥田 頌太
オクダ ショウタ

今回、僕がこの韓国派遣団に参加したのは仲の良い友達に誘われたことと、海外に1回も行ったことがなかったので行ってみたいと思ったからです。

3月26日に日本を出発しました。

関西空港から1時間で釜山空港に着きました。韓国に着いても日本とそんなに風景が変わらないので外国に来たという気がしませんでした。でも看板などの文字がハングルだったので、ここは韓国なんだなと思いました。

最初に慶山市役所を訪問しました。市長さんが僕たちを歓迎してくれました。慶山市内のVTRを見せてもらいましたが、大学がいくつもあり、まるで京都市みたいな学園都市でした。城陽市には大学がひとつもないのでちよつと驚きました。

その後慶山市場に行きました。市場の人はみんな温かく上手な日本語で話しかけてくれました。

夕食はあひる料理を食べました。味は鶏肉とあまり変わらずおいしかったです。

お箸が金属だったので少し重くて最初はとまどいました。韓国ではお皿を持って食べてはいけないというマナーがあるので、それが気になって少し食べにくかったです。

2日目は巳洞中学校の生徒との交流会がありました。巳洞中学校は大きくて、まるで大学のようなきれいな学校でした。

交流会ではパートナーの人とは「カムサハムニダ」ぐらいしか韓国語は話せなかったけれどプレゼント交換をしたり、学校を案内してもらったりして楽しかったです。

廊下を歩いていると、背の高いメガネをかけた男子が英語で僕に「君は僕の友達に似ている」とかいろいろ話しかけてくれたので、仲良くなれました。

巳洞中学校の人はみんな英語がすごく上手だったので僕ももっとしっかり英語を勉強しなくてはいけないと痛感しました。

中学校で一緒に給食を食べた後、博物館へ行きました。その後、カッパウイ山に登りました。カッパウイ山の頂上には大きな仏像があつて多くの人がそれぞれ違った拝み方で、熱心に祈っていました。僕も自分なりの拝み方で家族の健康を祈りました。頂上から見る景色はすごくきれいで、登るのはちよつとしんどかつたけれど登って良かったなと思いました。

下山後巳洞中学校の人と別れました。短い時間しか一緒にいられたかつたけれど、いい人ばかりだったので別れる時は少しさびしかったです。

3日目はソウルに電車で移動しました。電車といっても日本の新幹線みたいな列車で、騒音は全くありませんでした。

ソウルは東京くらいの人の多さで圧倒されました。昼食は韓国冷麺を食べましたが日本で僕が食べる冷麺でなく、辛かつたので残念でした。

民俗村にはたくさん歴史的な建物がありました。日本でいえば東映の映画村みたいな感じだと思いました。

夜はソウルタワーに登りました。ソウルタワーから見る夜景はこれまで見た夜景の中で一番美しく心に残りました。

最終日の4日目はソウル市内を見学しました。宮殿に行きましたが昔は王様と女性しか入れなかった所だったので昔なら僕達はとても立ち入れない所でした。

最後におみやげを買いに入ったお店で、おばさんに日本語で「安くするから買わない？」と何回もしつこくつきまとわれて閉口しました。こんな経験は初めてだったので韓国の人のパワーを感じました。

飛行機で一時間で行ける日本国内より近い所に、まったく違ったハングル文字、食文化、風景があるのだなと思いました。

今回は韓国語も英語もろくに話せなかったけれども、それでも仲良くなれて楽しかったのも、もっと話せたらどんなに楽しいだろうと思います。今回、派遣団に参加出来て、初めて外国の文化に触れられて、将来に向かって新しい一歩をふみ出す経験が出来ました。

この機会を与えていただいてどうもありがとうございました。「カムサハムニダ」



韓国料理は辛かった…!



「韓国」への訪問

東山中学校 2年

カナダ
金田 一真
カズマ

僕は三月二十六日から三月二十九日までの三泊四日間韓国へ城陽市中学生派遣団として行きました。海外へ行くのはとても久しぶりで、しかも友達と行くので、とてもわくわくしていました。一番最初に、城陽市の公用バスで関西国際空港まで行きました。途中、大阪城や朱雀門を見れたりしました。空港で、お昼やお金を換金していたら、飛行機に乗り遅れそうになりましたが、何とか無事に乗れました。大阪から釜山金海空港の間は一時間ほどのフライトでしたが景色がとてもきれいでした。初めての韓国の印象は日本とあまり変わらないなと思いました。韓国に着いてから、慶山市の市役所へ行きました。そこで市役所の方々に挨拶をしました。その時出てきた人参茶は甘かったのですが臭いがとても土臭かったです。次に議場の方へ行きました。韓国の議場と日本の議場はあまり変わりはありませんでした。そして、市役所訪問がすべて済んだ後、慶山市の市場へ行きました。市場を見学して、バスを待っている時に、国際女性会館へ行きました。そこでは、国際結婚した女性が韓国語を学ぶという施設でした。そんな施設は日本にはなかったもので、とても驚きました。その後バスに乗ってソクチョン温泉ホテルへ行きました。そして、夕食を食べました。そこで、チンさんという市役所の人と仲よくなりました。その夜に入ったホテルの温泉はとても気持ち良かったです。

二日目、その日は巳洞^{サド}中学校の中学生と交流する日でした。どんな人だろうと思いつながら、巳洞中学校へ行きました。まず最初に、中学

校の校長先生や他の先生方に挨拶をしました。その後この中学校がどんな風に生活しているのかをビデオで見せてもらいました。その中にお祭の時に日本の歌を上手に歌っていてすごいと思っていました。そして、いよいよ中学生との交流をしました。相手は女の子で名前は金智連ジンニョンさんでした。初めはとても、緊張しましたが、金さんは漫画好きだったので、結構話が合いました。その途中でプレゼント交換をしました。僕はボールペンをあげました。そしたら金さんは自作の象をくれました。あまりにも上手だったのですが、うれしくなりました。

その後、学校の中を色々案内してくれました。学校はとても綺麗で生徒はとても熱心そうに授業を受けていました。一通り見学を終えた後食堂で給食を食べました。給食でもキムチが出ていたのでびっくりしました。よほどキムチは韓国人に好かれているのだなと思いました。そして、給食を食べ終えてみんなでカッパウイ山に登りました。登り切った時はとてもうれしかったです。次に博物館を訪れました。中を見ていると慶山市が歴史ある町だということがとても分かりました。博物館を出てバスを待っている間鬼ごっこをしました。韓国の人達と一緒にしたら、とてもおもしろかったです。そして、バスに乗る時間が来てしまい中学生たちと別れました。別れた時は結構さびしかったです。

三日目、今日はほぼ移動の日でした。東大邱トンテグ駅で電車に乗りました。三時間も電車に乗っていると、疲れてしまいました。水原スウォン駅に着くとやっと降りれたという気持ちでいっぱいでした。その後、韓国民俗村に行きました。韓国の歴史ある家々を見回っていると、突然ケンタッキーのカーネルおじさんに似ている人がいました。あまりに似ていたので写真をとらせてもらいました。その後、お土産屋に行ってお土産を買いました。民族村を後にしてソウルに行きました。そこで夕食を

食べましたが、からいものばかりで半分くらいしか食べられませんでした。次にソウルタワーに行きました。山の上に立っているのもとても高く見えました。その後セジョンホテルへ行きました。その夜みんなで一つの部屋へ集まって怪談話などをしました。

四日目最終日でしたが生憎の雨でした。最初に景福宮ギョングボクンを少し見学して明洞ミンジョンという町へ行きました。意外と日本と似

ていました。その後キムチの専門店に行ってお土産をたくさん買いました。あまりに買いすぎたので荷物がパンパンになってしまいました。そして次にソウル仁川空港インチョンへ行きました。空港に行くそこで、ガイドさんと別れみんなでマクドナルドへ行きました。そしてハンバーガーなどを食べた後、出国審査を受けていよいよ飛行機に乗りました。乗って席に座ると、もうすぐ韓国とお別れするという実感がわいてきました。そして飛行機が離陸して行くとなんだか少しさびしくなってきました。飛行中とても飛行機が、落ちるのではないかというほどゆれましたが、無事に関西国際空港に着きました。そして、城陽市の公用バスに乗って帰りました。まだここには書ききれないほど思い出があります。僕にとってこの四日間はとても勉強になったと思います。この経験を生かして世界中が仲良くなれたらいいなと思います。



慶山市役所の陳炫浩チェンヒョウホさんと一緒に
一慶山市立博物館にて



「私の一生の財産」

立命館宇治中学校 1年

カナダ
金田 ママ ユカ
麻友香

今回の旅行で経験した事は私の一生の財産になったと思います。中学生と交流したり、友達と夜さわいだり、他にもたくさんたくさんいい思い出をつくれました。そのことを今からこの文を読む人に伝えていきたいです。

三月二十六日午前7時半。たくさんの人達に見送られながら私達は城陽市を出ました。バスの中で私は不安でいっぱいでした。これからこのメンバーでやっていくわけだけど、みんなと仲良くなれるのかどうかとか、韓国の人とちゃんと話せるかどうか、などなど色々な不安が私の心の中でうずまいていました。しかし、そんな不安が飛んでいくぐらいこの四日間はとても楽しかったです。

しばらく時間がたち、閑空に着き、色々としてゲートに行こうとすると、スチュワーデスさんがいそいで私達の方に近づいてきて、「お客様！お客様の飛行機五十分に出発しますよ！」と言われました。そして時計を見るとなんと四十五分!!あわててゲートにいき、どうにか飛行機にのることはできたものの、初日からこんなハプニングがあったて本当に大丈夫なのか?!とまたまた私の中は不安でいっぱいになりました。

飛行機から降りて韓国に着いたけど、あんまり韓国に着いたって気がしませんでした。そこからすぐに慶山市長を訪問しに行きました。そして市場に行きました。市役所では、慶山市のビデオを見せてもらいました。そのビデオでおもった事は、慶山市は本当に良いところだ

などということでした。教育が発展していて実験施設も充実。環境も良いすばらしいところだなと思いました。城陽市もこんなところを目指してがんばってほしいです。市場は色々な物が売っていました。なべや、魚、野菜、その他色々な物がありました。結構物価が安かったのにもおどろきました。

その後は夕飯を食べて宿舎に行きました。夕飯に出てきたキムチを食べただけ辛くて、辛くて、涙が出てきそうでした。宿舎では疲れていたのでもすぐに寝ることができました。

次の日、よく寝れたので気持ち良い朝を迎える事ができました。朝食をとった後、巳洞中学校に行きました。前日仲よくなった、藤川さんや、林さんと小学校の頃から仲の良い大藤さんとバスの中は楽しく過ごす事が出来ました。そしていよいよ中学校に着きました。実は中学校を訪問する事が一番不安な事でもありました。ちゃんと相手に話しが通じるか不安いっぱいでした。けど、韓国の中学生は日本語もうまいし、とっても積極的に私の不安はいつきに飛んでいきました。言葉が伝わらなかつた事もあつたけど、登山も博物館もとっても楽しかったです。メールアドレスを交かんしたので、これからも仲良くしていきたいです。

三日目は午前中はずっと移動でした。午後になり民俗村に行きました。韓国の昔の生活や家などがわかりとても良かったです。またこの民俗村は映画撮影も行なわれているというのにはびっくりしました。次は免税店へ行きお土産を買った後、ソウルタワーを見に行きました。ソウルタワーはとってもきれいでした。「わあ。」と言ってしまうほどきれいでした。ソウルタワーの中からみる夜景も特別きれいでした。宿舎に戻った後、みんな一つの部屋にまとまり色々な話をしました。もう三日たつとみんな仲よくなりました。私は怖い話をしま

したがみごとにスベりました。みんなでキャツキャツさわいでとても楽しかったですが、反対に明日で最後という寂しさも心の中に取りました。

そして最終日。寂しい気もしましたが、それ以上に今日という日を楽しもうと思いました。青瓦台チョンワデと景福宮キョンボククンはとっても大はく力でした。

とっても派手な色が使っているのがめずらしかったです。日本はもつと地味な感じだから。次に行った明洞ミンジョンはものすごく大きなショッピングモールでなにより、日本語がどの店もしゃべれるのでびっくりしました。日本語はものすごく広がっていつてるんだなと感じました。そして次はキムチ専門店。私は試食の時間おいしいと思った、「いかの塩辛」を買いました。そしてそのまま空港へ。飛行機に乗り、韓国にさよならをし日本へお久しぶりをして、市役所に着きました。今思い返せばものすごく良い経験をさせてもらったと思えました。普通の観光ではさせてもらえない事をさせてもらい、本当にありがとうございまして。この事をこれからやうにたてていきたいです。



古代の刑罰を体験
— 韓国民俗村にて

「韓国派遣団に参加して」

南城陽中学校 2年

可畑カバタ 彰洋アキヒロ



僕が、中学生韓国派遣団に、応募しようと思ったきっかけは、両親に勧められたからだ。初めは挨拶の練習や、なんやかやで、戸惑っていたけれど、行く日が近づいてくればくるほど、楽しみになってきた。出発当日は、城陽市役所で集合し、バスで関西国際空港まで行き、飛行機で韓国まで行った。韓国で着いた空港は、プサンキョンサン金海キムメ空港だった。そして、バスに乗り慶山市長表敬訪問に行った。行く途中、バスの中から見えた風景は、僕の住んでいる所よりも数十倍都会だと思った。市役所に着いて広い部屋に行って市長の挨拶を聞いて、高麗人参茶を飲んだ。すこし僕にはかなわない味だった。そして、普段は入れない議会議室に入れてもらい、たくさん写真を撮って、市役所を出た。そして、慶山市場を見学し、アヒル料理を食べて、ホテルに行つて、寝た。

二日目は、巳洞サドン中学校訪問の為に、九時に出発した。中学校に到着するとまず、校長先生に挨拶をした。そして、巳洞中学校の生徒さんと交流会をする教室に行った。交流会で僕は、初めの挨拶をしプレゼント交換をした。次に、皆が勉強している教室を見学して回り、生徒の多さにびっくりした。僕の学校の3倍の生徒がいたからだ。そして、給食と一緒に食べた。給食はおいしかった。そして、皆でカップウイ登山に行った。頂上にはカップウイ仏像があり、仏像に願いをかけて、全員で写真を撮った。そして、慶山市立博物館に行った。博物館には古い書物や日用品が展示してあった。

そして、夜ご飯は、しゃぶしゃぶだった。とても、おいしかった。その後のチャーハンも、とてもおいしかった。満足して、ホテルに戻り、温泉でサウナに入って気持ちよく寝た。

三日目の朝は、六時に起きた。この日は、電車で移動した。東大邱^{トシダク}駅から水原^{スウォン}駅まで二時間かけて行つた。この電車は、振動が少なく速くて快適だった。そして、着いた所は慶山市よりもっと都会だった。そこで冷麺を食べた。これです。

そして、韓国民俗村で昔の韓国の家や生活などを学んだ。そして、夜、ソウルタワー^{ソウルタワー}に行つて夜景を見た。とても美しかった。そして、この日は世宗^{セジョン}ホテルに泊まった。部屋で、怪談をして楽しんだ。

四日目はとうとう帰国する日だ。午前中はソウル市内を見学した。一日目からたくさん^{たくさん}の所を見学してきたが、これで最後だと思つと、しっかり見ておこうと思つた。

たくさん見学して、とうとう最後のご飯になった。最後のご飯はとてもおいしいビビンバ^{ビビンバ}だった。僕は、味わつて食べた。そして、バスでソウル^{ソウル}仁川^{インチョン}空港に着いた。そして、韓国から飛行機に乗り、日本へ帰つてきた。

僕にとつて、とても長くて短かつた三泊四日だった。僕は、この韓国派遣で、楽しい仲間に出会い、韓国の色々な事を学び、貴重な体験をした。一生忘れないと思う。

最後に、高橋さん、大久保さん、馬場さん、お世話になり、本当にありがとうございました。



願い事が叶いますように…
—カップウェイ登山



「笑顔でつながる友達の輪」

東城陽中学校 2年

鈴木 スズキ
公望 コウミ

私の韓国に着いての第一声は、

「韓国の香りがする！」

です。韓国の香りというのは自分でもよくわかりませんが、何か少し日本とは違う御香のような、食べ物の匂いのような…。なんとも言いえない匂いでしたのです。でも案の定みんなに

「韓国の香りって何？」

と不思議がられました。でもこの韓国の香りを嗅いでから、”韓国に来た”という実感がわいてきてワクワクしていました。

最初は韓国の中学生はどんな感じのかなと思っていました。テレビなどでソウルなどの映像は見た事があっても、慶山市キョンサンという所はどんな所だか知らなかったのです。中学生となるともつとわかりませんでした。巳洞サドン中学校に着いた時、私は

「日本の中学校と比べると、校舎が茶色だったりして見た目がきれいだな。」

と思いました。バスを降りて昇降口の近くに行くと二階か三階の窓から生徒が何人かのぞいていました。私は

「うわあ！見たはる！」

と知っている、向うが手を振ってくれたので私も喜んで手を振りかえました。校舎の中に入って見て回った感想は普通の教室なら、あまり日本と違う所はありませんでした。でも一つだけ大きく違う所がありました。それは、巳洞中学校には食堂がありました。私の通って

いる中学校には食堂がないので、少し羨ましく思いました。

教室で韓国の中学生が来るのを待っていると何人かの生徒が入って来ました。私が

「私の前に座るのは、女の子かな？男の子かな？できれば女の子がいいなあ。」

と、考えて待っていると、私の前に座ったのはちよつと大人しそうなメガネの女の子でした。自己紹介の後に話そうとして、いろいろと韓国語の紙をペラペラめくりながら質問したりしましたが、まだ最初という事もあってちよつとぎこちなかったです。プレゼント交換の時はこちらよつとモアイ像に似た石像でした。プレゼントと言うと何がもらえるのか想像がつかなくて楽しみにしていたので、この石像をもらったのはとても意外で、かわいかったし、おもしろかったです。

今回の韓国の中学生との交流で私は、コミュニケーションをとる方法として行動や言葉以外にも一つ「笑顔」ということがとても大切だと実感しました。やっぱり初対面の場合、無表情や、ふてくされた顔をしている人よりも笑顔でいる人の方が近寄りやすいし、話しかけやすいです。私のペアの子は、最初は緊張していたのか、表情が固かったり、伏し目がちだったのでですが、私は何を話すのかわくわくした気持ちで考えていたので笑っていました。ペアの子は、ときどき私と目が合うと少し、笑ってくれました。私は「なんでにっこりしてくれたのかな？」と思いましたが、すぐに気づきました。

「私が笑っているからや！」

その事に気づいてから私は、その子に質問する時などでもできるだけここにこしていることにしました。すると、その子も私が質問したり、答えたりする度に笑ってくれました。すごく嬉しかったし、お互いの

国の言葉をあまり話せなくてもなんだが通じ合えた気がしました。それは、他の子にも同じでした。カッパウイを登山している時に、私が一人で登っていると、ペアではない韓国の女の子のグループの一人が笑顔で私に

「一緒に行くおう？」

と誘ってくれました。するとその子とも話した事もなかったのに打ち解けた感じになって、斜面で滑りそうな所では、腕を組んできたりしてとても親しくしてくれました。私は、その子が笑顔で話しかけてくれた事で、話しやすく思い、仲良くしたいと思いました。その子と仲良くなった事でその子の友だちとも、仲良く笑顔で話す事ができました。そういう些細な事から交流の輪がどんどん広がっていくのだと実感できました。その友だちの子は最後のバスの見送りの時に、バスの窓の所まで来て、私の座っていた所の窓を

「トントン」

として手を振ってくれました。仲良くなれて感激しましたし、その分別れるのが淋しく思いました。

三泊四日の少しの間でしたが韓国に行ってきた皆さんの事を学びました。もしまた今度、外国に行く機会があれば、すべての人に笑顔で接したいと思いました。

発見！石像のプレゼント！
—韓国民俗村にて



「IN韓国」

ノートルダム女学院中学校 3年

谷 亜弥

一日目。初めての韓国に対してウキウキしていたなか、慶山市長に中学生の代表として挨拶をしました。韓国人の方に私のカタコトな韓国語が伝わるか不安でした。でも、拍手をもらった時、なんとなく伝わっていた事が分かり安心しました。その後、慶山議会を訪問し議長席に座らせてもらいました。その場からの眺めは良く、本当にどこかのお偉いさんになった気持ちでした。

私が一番楽しくて深く思い出に残っている二日目の巳洞中学校への訪問では、まず最初に校長先生方に挨拶をしてから巳洞中学校について簡単に教えてもらいました。校内をまわっていると生徒のみなさんが声を掛けてくれました。時には、握手を求められたりしました。何か有名人になった気分がうれしかったです。中学生との交流では自己紹介などを韓国語でして色んな事をジェスチャーを加えて話しました。最初は話す内容などに戸惑いましたが、少しずつ馴染んで話せるようになりました。日本語・韓国語・英語、色々使って必死に話しました。そのままみんなでカッパウイに登りました。想像以上の階段の多さにびっくりしました。途中で雨も降って来て大変でした。登山中は巳洞中学校の子とあんまり話すことができなかったけど慶山市立博物館ではいっぱい話しました。博物館の見学の時間が余ったので女子のみんなで鬼ごっこをしました。鬼ごっこは日本も韓国も一緒でした。最初で最後の鬼ごっこは楽しくてずっとそのまま遊んでいたぐらいだったのですが、バスに乗る時間が来たのでメールアドレスなどを交換し

てお別れをしました。話している間に、韓国は二月終わりの三月始まりなので中学三年生は十六歳だということを知りました。他にも巳洞中学校の学食で食べている時、私たちはご飯と一緒にお茶を飲むのに、韓国の生徒さんは食べ終わった後に飲まれていました。校則か何かにも知らなくて困りました。でも色んな事を交流している間に知れて良かったです。宿舎は一日目と同じ『オンドル』という床暖房の部屋でした。しかし残念ながら三月下旬に床暖房は暖かすぎました。でも、二日目は疲れていたのでぐっすり眠れました。

三日目。慶山市でお世話になった方々とお別れをしてソウルへ行きました。ソウルまでは三時間ほどで電車で行きました。飛行機に比べて電車の席は広く、カードゲームなどをして楽しんでいました。ソウルに着くと韓国民俗村に行きました。広くて、全てを見ることが大変だったけどすごく楽しく、馬を見たら動物園な感じもしました。夜はソウルタワーを見学しに行きました。タワーからの景色は素晴らしかったです。色んな光が綺麗でイルミネーションみたいでした。東西南北、どこを見ても高層ビルばかりで城陽や京都では見ることのできない景色でした。ソウルの世宗ホテルセジョンという宿舎に戻り、カーテンを開けるとソウルタワーが見えました。景色も部屋も綺麗で本当に良かったです。

そして最終日の四日目は景福宮キョンボクンなどを見学しました。雨が降っていたのであんまり詳しく見れなくて残念でした。でも雨のなか、明洞で買い物をしました。傘を持ってるのが面倒臭くなったのでフードをかぶって色んな物を見ていました。明洞は広かったので二時間ではすべてを見ることができずショックだったけど免税店で香水や化粧品などが買えたので良かったです。ウキウキしながら色んな物を見ていました。けど、買い物をしている間に時間は少しずつたっつてしまいい韓国



ソウルタワー

韓国語で挨拶しました
—慶山市役所にて



との別れも近づいていました。3泊4日は長いようで短かったです。空港に行く前にキムチやのりの専門店に行き、残っているお金で色んな物をたくさん買いました。

食事はほとんどのものが辛かったです。私はそこで初めて韓国だと実感しました。四日間、日本では食べられないようなものを食べられてよかったです。キムチはキムチでも本場のキムチは少し酸味があったり辛かったり色々ありました。とにかく辛い食べ物づくしだったけどすごく美味しかったです。

日本と韓国の違いなどが知れて良かったです。『郷に入っては郷に従え』やっぱりこれが大切なんだなあと改めて思いました。又、このような機会があったらもっと勉強してから行きたいです。



「中学生韓国派遣団に参加して」

東城陽中学校

2年

中井 博輝

三月二十六日～二十九日の四日間、中学生韓国派遣団として、城陽市の姉妹都市である慶山市キョンサンとソウルを訪ねました。慶山市がどんな街なのかとても楽しみで、ワクワクしていました。僕は巴洞中学校サドンの生徒さんたちとの交流の後のあいさつをすることになりました。韓国語でのあいさつだったので、韓国語をがんばって練習しました。韓国語はとても難しく、とても覚えにくかったです。事前の研修会でハングル文字は口の形を表しているものと教えていただきました。

韓国に到着して、まず慶山市役所を訪ねました。そこで市長とお会いし、慶山市の紹介のビデオを見せていただきました。慶山市は面積が城陽市の約十倍、人口も約三倍で大学や高校が密集する韓国最大の学研都市であり、古墳や史跡、神社、仏閣など多くの歴史的な遺産がある。大都市に近く、ベットタウンということでした。多くの古墳があり、ベットタウンであることは城陽市と似ているなと思いました。議場も見学させて頂きました。とても広く、立派な議場でした。

「キヤー、キヤー」

大勢の生徒さんたちが僕たちを迎えてくださいました。まるで、アイドルのような歓迎をうけ、少しビックリしました。韓国では、二月に卒業式で、三月から新学期が始まっているそうで、生徒さんたちは授業をされていました。巴洞中学校は生徒九百五十五人で、クラス数二十九クラスとても大きな規模の中学校で校舎もとても立派でした。

中学校では英語の授業を見学させて頂きました。日本とちがい、一人一人パソコンを使つての授業でした。一人一人の生徒さんがとても熱心に勉強していました。勉強をさせられているのではなく、「自分から進んで勉強するぞ!」という雰囲気、僕も見習わないといけないなと思いました。

昼食には給食を頂きました。給食は少し辛かったけど、とてもおいしかったです。韓国の学生さんといっしょに話をしながら食べました。と言ってもなかなか言葉が通じなくて、部活動は何をしているのかを聞くのがやっとだったので。この日のために少しは韓国語を勉強したはずだったので、やはり、実際に使うのはむずかしかったです。(もう少し、韓国語を勉強していれば：せめて、もう少し英語が話せれば：)でも、とても楽しい食事時間でした。

食事の後、八公山バルゴンサンに登りました。四十五分ぐらい登ると、目の前に大きな仏像が現れました。(カツパウイ・プチョ)です。頭に平べったい石を笠のようにのせていて河童のようであるところから「笠岩カツパウイプチョ仏」と名付けられたと言われています。心から願うと一つだけ願い事が叶うと言われているそうです。頂上はとても寒く、雪が降つて来ました。

下山後、博物館を見学しました。二〇〇七年に建設された新しい博物館で韓国の歴史に関わるものがたくさん展示してありました。僕は、巴洞中学校の生徒さんと鬼ごっこをしたことがとても印象に残っています。話をするだけでなく、いっしょに鬼ごっこをして、巴洞中学校の生徒さんとても仲良くなれたような気がしました。鬼ごっこに国境はない!すごく短い時間だったけれど、同じ年の生徒さんたちといっしょに過ごせてとても楽しかったです。いっしょに授業をうけたり、クラブ活動をしたりすることができたら、もっと楽しいだろうなと思

いました。

三日目はソウルに行きました。韓国民俗村は、昔の韓国の人々の生活を再現した村で、昔の人々の生活がよくわかりました。ソウルタワーからは、ソウルの町が三百六十度見渡せ、夜景は最高にきれいでした。

キョンボックン

最終日は景福宮^{キョンボックン}とあって、昔の王様が生活していた所を見学しました。とても大きく立派で、裕福な生活をしていたことがわかりました。この派遣団では、いろいろな事を体験させて頂きました。ホテルも昔ながらの韓国の生活が少しでも味わえるような床暖房の温泉旅館だったし、食事もアヒル料理、冷麺、韓定食、石焼ビビンバなどの伝統的な韓国料理でした。とても近い国なのに日本と違うことがたくさんありました。言葉はもちろん、生活習慣や食事などです。四日間という短い間でしたが、韓国のことをいろいろ勉強することができ、もっともっと知りたいと思いました。いろいろな体験したことを友達や家族に伝えたいと思います。

暗唱した韓国語の挨拶に拍手！



慶山市場を散策



「韓国派遣団に参加して」

城陽中学校 3年

ナカムラ
中村 早希 サキ



私は、中学生韓国派遣団に参加してよかったですと思っています。なぜなら、日本では体験できない事がたくさん体験できて、学ぶ事ができたからです。私が韓国を訪れたのは、これで二回目になります。一回目は、一昨年、家族旅行で韓国を訪れました。その時は、冬だったのでもとても寒かったのを覚えています。

そして、今回城陽市から韓国に行って、特に印象に残ったできごとは、^{サド}己洞中学校を訪問して韓国の中学生と交流できた事です。韓国語のプリントを見ながらだけれど、少しずつ話ができとても楽しい一時が過ごせました。韓国の中学生と仲良くなれて、一緒にカツパウイを登山したり、鬼ごっこをした事で、韓国の中学生とはじめはぎこちなかったけれど、少しずつ喋れるようになりました。カツパウイは、とっても急な坂道で大変だったけれど、友達と一緒に登った事でしんどかった道のりも早かった気がしました。最後にはメールアドレスも交換したり、その他にも、日本で今はやっている芸人の名前を知っていたり、とてもびっくりする事がたくさんありました。

中学校では、珍しいものを見るように生徒さんの目が私たちに集中していて、なんだか有名人になれたような気分でした。握手を求められたり、「愛してる」と叫ばれたり、とても恥ずかしかったけれども、反面とても嬉しかったです。城陽市との姉妹都市慶山市は、^{キョンサン}城陽市と似ていて田舎でした。けれども、とてもいい町で私は好きになりました。交流の他にも、慶山市立博物館や韓国民俗村などを訪れて韓

国の伝統的な文化を知ることができて、とてもいい勉強になりました。そしてソウルは、家族で訪れたこともあり、同じところ以外に景福宮や青瓦台や明洞を見学して、韓国の建物は日本とはまた違ったものでした。特に景福宮は、大きい建物がいっぱいでも中身もすぐくきれいでした。日本は昔の姿のまま建造物を残していきますが、韓国は元々の色に塗り替えるという文化の違いも感じました。この道を王様が通っていたんだと思うと、自分も偉いさんになった気分でした。何よりも友達と四日間ずっと一緒に過ごせる嬉しさがありました。

はじめは、まったく何も知らなくて声をかけることすらできなかったけれど、だんだん心を開けるようになって、友達と一緒にオンドルという床暖房の部屋で寝たり、夜にはみんなトランプをしたり、喋ったりと仲を深めることができました。そして、今ではとても大切な存在です。この中学生韓国派遣団に参加をして、私はたくさんのことを学ばせていただきました。たとえば、住む国が違って心は同じ人間なんだから、日本語が通じなくても必死に話して時には、ジェスチャーを加えてわかってもらいたい気持ちになりました。前までなら、わかってもらえなかったら簡単に諦めていました。けれども、今回韓国派遣団に参加をしたことで友達と一緒に楽しく韓国の子と楽しく喋ることができたことを嬉しく思います。

そして、韓国の伝統や文化を見て聞いて韓国のことをたくさん知れて、体験したことのない床暖房で寝たり、とても暑くて寝るのに苦労したけれど、貴重な経験でした。韓国の食べ物は、全部が全部辛い食べ物だったけれど、挑戦をして辛いものが少しは食べられるようになりました。この四日間中学生韓国派遣団で学んだことが無駄にならないように今後の生活に生かしていきたいと思えます。四日間本当にたくさんのことを学ぶことができてよかったです。



韓国の伝承遊びを体験
—慶山市立博物館にて



雨の中のソウル観光 —景福宮にて



偉いさんになった気分?!
—慶山市議会議場にて



「韓国派遣団に参加して」

北城陽中学校 2年

林 杏奈
ヘヤシ アンナ

この企画に応募しようと思ったのは、丁度外国に行きたい〜と思っていたときに牧子先生に韓国に行くのがあると聞いたからです。

釜山空港に到着して、韓国独特のニオイがして着いた〜って感じがありました。とにかく全部が楽しかったです。韓国はほとんどの女の子が同じ髪型で面白かったです。

慶山市長さんを訪問したときにでた高麗人参のジュースは今まで味わったことのないようなすごい味でした。もう見たくもないです。

韓国へ行って一番驚いたことはおはしの形です。見た瞬間「鉄でできて平べったくて使いにくそう！」って思いました。使ってみるとうどんをつかめなかったりして、本当に使いにくかったです。

ご飯には毎日絶対キムチが出て味が店ごとに違うらしいです。でも、何処のキムチも辛いとしか感じなくて味の違いがわからなかった。3日目に食べた冷麺は見た目は全然辛そうでなくて、安心して大根のよくな物を食べてみるとはじめは甘かったけど、あとからがすごく辛かったです。まだ水を注いでなくて、急いで注いで飲みました。大久保さんはそれに赤いのを加えて食べていて、すごく辛そうでした。辛いのが苦手なのであまり食べられなかったけど、4日目に食べたピビンバはすごく美味しかったです。

宿舎では、早く寝ようと思ってでもなかなか寝付けず、結局遅くまで起きていました。最後のホテルでは、寝る前に皆で集まって面白い話大会があったりもして「最後なんやなあ」と思いました。お菓子を食

べたりして楽しかったです。話したことがなかった人ともそこで最後に話しました。

2日目の巳洞中学訪問のとき、ほとんどの人が3年生って書いてあって驚いたけど3月に入学式があるらしいから「同い年やあ〜」って思って安心しました。向いの人は優しそうな女の子でした。同じ名字で読み方を教えてもらいました。林は韓国ではイムって読むらしいです。メールアドレスを交換して、話をしました。

プレゼント交換でCDを貰いました。ぜひ今度聞いてみたいと思います。私は源氏物語が描かれているハンカチをあげました。喜んでくれたみたいで良かったです。バスの中でも歌手の話など、いろいろな話をしました。言葉が通じなくて大変だったこともありましたが、英語ならわかってもらえたので良かったです。そのことから英語の大切さを学びました。

日本語の歌を歌ってくれたりして、日本語が凄く上手で驚きました。文化祭(?)でも、日本ではやらないようなことをやっていて文化の違いを感じました。

カッパウイ登山では中学生と行って、楽しい話をしていました。寒かったけど雪が降って綺麗でした。願い事が叶うらしいので、のぼりながら一生懸命願っていました。

博物館では、リアルな鶏が一番印象的でした。外で輪投げっぽいものをして遊びました。そのあとは羽根つきのようなものもしました。

3日目に行った免税店ではお菓子などのお土産と、友達へのキーホルダーを買いました。時間が足りなくて、最後走っていました。

ソウルタワーは外から見ても凄く綺麗だったし、中から外の景色を見ても綺麗でした。日本でいうと東京タワーになるんやな〜と思います。

次の日の免税店などが並ぶ商店街、ミョンドン明洞では、ブランドの香水、化粧品などを買いました。たくさん買々とサンプルなどのサービスをしてくれるので楽しかったです。キムチの専門店っぽいところではブランド(?)のキーホルダーが安く買えました。試食で凄く辛いのを食べさせられたりもしました。

帰りのバスでは疲れて、ずっと寝てました。サンドウィッチは辛かったけど韓国料理に比べたらずっとましでした。

韓国に行って良い経験になったと思います。これからも英語をしっかり勉強して海外にたくさん行きたいと思っています。

仲良くなれるかな？

— 巳洞中学校交流会にて



韓国の中学生とカップवाई登山



「韓国派遣団に参加して」

北城陽中学校 1年

藤川 志帆

私は、四日間城陽市の中学生代表として、姉妹都市の慶山市キョンサンに行きました。

1日目は慶山市の市長さんの所へ行き、慶山市はどのような産業や特産物があるのか色々説明して頂きました。そこで分かった事は慶山市は城陽市以上に市民全員が活気に満ちた町であり、一人一人が向上心に満ちあふれていました。

それから、バスに乗って慶山市場シジャンを見学しました。そこで感じた事はみなさん温かく初めて会ったのにもかかわらずとても優しく接して頂きました。行く前の学習会の一場面でも、このような説明がありました…。

それは、
「韓国民の大人たちは皆で子どもを守り、育む取り組みがされていて子ども達をととても大切にしていとお国柄です。」

と聞いていたのでまさにその言葉通りの対応でした。それから、その日の夕飯はアヒル料理を堪能しました。アヒルなんて食べた事がなかった私はどんな味がするのか、食べる前から興味津々でした。そして食べてみると、その食感ヌルヌルして脂身が多い肉質だったせいもあり、私の好んでいる味付けではなく、少々がっかりしました。

2日目は巳洞中学校サドゥンを訪問しました。行く前までは仲良くしてくれるか、ちゃんと話せるか、など不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、訪問してみればびっくりするぐらいの歓迎をして頂きとても嬉し

かったです。交流会では男の子が私のパートナーでした。初めはお互いあまりスムーズにうちとけて話すことができませんでしたが、時間とともにジェスチャーを交えながら話すことができました。いつもは何気なく話し、いとも簡単に意思を疎通し合える事がすごいと実感しました。そして午後からは、巳洞中学校の人達と、カツパウイ登山しました。とても、傾斜がきつく、辛い道のりだったけれど、韓国の子たちと話しながら登っていたので、あつという間に登りきる事ができました。

そして、頂上につくと雪が降っていてとても寒かったです。登った達成感からすがすがしい気持ちで胸がいっぱいになりました。そして、大きな大仏に願い事を2つし、下山しました。そして次に慶山市立博物館を訪れました。

3日目は朝早く起きて韓国の電車に乗りソウルに行きました。そして、韓国民俗村に行き昔の韓国の人の暮らしなどを見学しました。夕食後はソウルタワーを見学しました。ソウルタワーの上からみる夜景はとても美しく幻想的でした。夜景を見てみると、とても自分がちっぽけな存在に思ったと同時に地球がとても大きく感じられました。そして、私自身もこの旅行でいろいろな所を、訪れられたことを感謝しながら、なごりおしみながら眠りにつきました。

そして、この日が最後の夜だったので、皆が1つの部屋に集まって大久保さんの話を聞いたりして、みんなで楽しく話していました。

4日目は、ソウル市内を見学し、家族や友達のお土産を買ったりしました。そこで気付いた事は、韓国はとても物価がやすいという事です。そして日本以上に地方によっても物価の幅が大きいと思いました。そして、その日の昼食はビビンバでした。この旅行の中で1番美味しく感じられました。全体的に韓国で、食した物は私の口に合わず日

本食の美味しさを実感させてくれた旅でもありました。

その後明洞ミョンドンも訪れました。明洞は東京みたいに明るくにぎやかで、活気にみちあふれていました。お店でも韓国の人が私の顔に何気なくさわってきたり、とてもなれなれしく、初対面には思わない接客をしてきました。また日本語で色々な事を聞いてこられて、おどろきました。でも韓国の人にとっては、それがあたりまえなのかもしれません。日本ではその様な接客は考えられないと思いました。

私はこの中学生韓国派遣団に参加しているんなことを吸収できてよかったです。初めはまるで国内旅行でも行くかの様な軽い気持ちで参加しました。

しかし、色々な人の支援があつてはじめて実行できたのが分かりました。そして韓国に訪れて日本の良さを再発見できたとし、異文化にふれられた事などもとても、勉強になりました。色々な刺激を受けた4日間だったけれど、とても楽しかったです。

今後、この韓国に行った経験を糧にして色々な事に挑戦していきたいと思えます。

そして最後に旅行でお世話になった全ての人達ありがとうございました。



土器復元パズルに挑戦
—慶山市立博物館にて



「韓国派遣団に参加して」

東城陽中学校 2年

三藤 満里乃

「アンニョンハセヨ、チョヌン東城陽チユンハツキヨ、イハンニョン、三藤満里乃イムニダ、チャルブタケヨ」
この言葉は、今回韓国に行くにあたり事前に学習した韓国語の挨拶です。

今回の韓国派遣団には、母からの勧めで参加しました。

私にとっては初めての海外であり、行くと決めた時から、城陽市の代表として交流が出来るのかとか、辛いものが多い韓国の食事は食べれるのだろうかと不安でいっぱいでした。しかし、出発前の説明会や、語学練習・市長さんへの挨拶等があり、時期が近づくにつれ、どんどん韓国派遣に対する不安が、期待に変わっていききました。

今回参加した十二名の中で、七名は同じ久世小学校の出身だったので、その点も少し安心でした。

出発の日、重い荷物を持って城陽市役所に行きました。四日間の韓国への旅が、今から始まるのかと思ひ、わくわくしました。

バスで関西空港に行き、飛行機に乗って金海空港に行きました。初めて韓国に到着した時の感想は独特な臭いがあつて、思わずキムチを想像しました。

その後、慶山市長の表敬訪問に行きました。韓国と日本との間には、歴史的な問題があると聞いていましたが、姉妹都市の私達の訪問を暖かく迎えてくださっているのが、表情や言葉からわかりました。

翌日には、巳洞中学校を訪問しました。近代的な建物で、ITも充

実し学生数も多く今私が通っている中学校とは、かなりの違いを感じました。

そこで印象的だったのは、学生の前髪がみんなまっすぐそろっていたことです。みんなでパツツンブームと言っていました。町を歩く人もテレビに出ている人も…何故だろう?と思いました。

コミュニケーションは、出発前に覚えたカタコトの韓国語と、単語主体の英語でした。巳洞中学校の学生は、二週間に一回の日本語の授業があり、「こんにちは」「ありがとう」のあいさつを、日本語で話してくれたことはとてもうれしかったです。

その後、カッパウイ登山や博物館見学を、巳洞中学校の学生と共に行いました。

韓国の食事は、辛いものが苦手な私には、少し無理がありました。一日目はどうにかお肉とご飯を食べました。韓国のりは好きなので、もつと出てきてほしかったです。二日目の朝にはプールの味の目玉焼きが出てきました。一口食べて水を沢山飲みました。何の卵だったんだろう?三日目の韓国冷麺は、だしが黒っぽくあとから辛さがピリツとくる感じでした。四日目のビビンバは、日本のものとあまり変わらない感じでした。

ソウルの明洞では、日本の同じスポーツショップやファーストフードが多くあり、日本の芸能人がのっている雑誌を置いている店もありました。日本の文化は、隣国の韓国にも取り入れられていると感じました。

また、日本より物価も少し安い気がしました。道幅は狭く車も多く、停車の車間距離がかなり狭い事にも驚きました。韓国ドラマで、交通事故のシーンが多いのもこのような交通事情にあるのかなと思いました。

観光地や、町や、人の服装までも、何もかもが鮮明な色使いで、韓国らしさを感じたけれど、今回それが何故かを知ることができませんでした。

また、韓国訪問で記念品としていただいた物で、いまだに使い方のわからない物があります。報告会の時に、金さんに確認してみようと思います。また、その記念品を韓国文化の一つとして、私の宝物としていきたいと思えます。

今回の韓国派遣団で学んだ事や経験した事を韓国との友好の第一歩として、今後更に深めていきたいと思えます。また、家族や友達に話すことや記念文集として残すことで、みんなに伝えていきたいと思えます。

そして今回の韓国派遣団の四日間で交流を深めることのできた仲間十二名とも、今後交流していきたいと思えました。

最後に、今回の貴重な経験の場を与えていただきました多くの方々に感謝します。

城陽市と慶山市の中学生の交流が、今後も末永く継続されることを願っています。



チャングムと記念撮影 — 韓国民俗村にて

<アヒル料理>
アヒル料理と聞いていたのですが、実はカモ料理でした。

人参茶はもう二度と飲みたくない?!



どのキムチがおいしいかな？
—キムチ専門店にて



給食にもキムチが…!



あとがき

2007年度の中学生韓国派遣団に団長として同行してまいりました。12人の団員の感想は、この文集にその思いが綴られているように様々ですが、それぞれ将来の大きな糧となり、派遣事業の目的を十分に果たしたものと思います。

今回の日程で中心となったのは慶山市立の巳洞中学校キョンサン サドンの訪問でした。バスが中学校に入り団員が降りると校舎の1階や上階の窓から鈴なりの生徒が手を振って大歓迎してくれました。互いの生徒に対する好奇心と人なつっこい歓迎振りが何とも新鮮な光景でした。学校は2003年の開校と比較的新しく、特に情報教育のモデル校で専用の教室では韓国製のパソコンをはじめ最先端の各種機器などが備えられていました。また、語学では日本語コースもあり、英語の会話はレベルが高く団員の中学生も驚いていました。生徒同士の交流では、テレビのドラマなども話題になっていたようで韓流の効果でしょうか。寒かったカップウイ登山は、和やかで楽しく、すっかり言葉の壁を越えた様に仲良くなつた生徒には、時間が少し短く感じられたのではないかと思います。

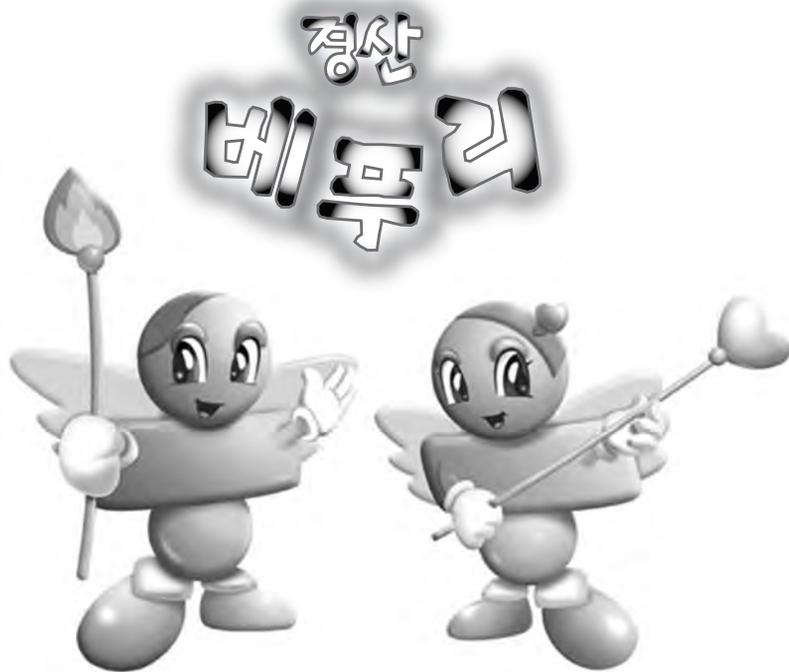
巳洞中学校の制服は未だ冬服でしたが、薄茶のツイードの洒落た上着と黒っぽいズボン、膝下までのスカートとタイト様の靴下で、一様に規律の厳しさが感じられました。しかしビデオで紹介された学校生活では、課外活動などはかなり自由に行なわれていると見受けられました。

慶山市は、韓国南部の大都市大邱市テグに隣接する人口24万人の学術都市ですが、田園地帯を残しながら中高層の集合住宅が各地に建てられ日本と変わらぬ団地風景も見られました。また、道路を中心とする交通網の整備が大変進んでおり、産業振興に力点が置かれていることが伺い知れました。また、首都ソウルでは、急速な発展と同時に、デモに備えて沢山の警官隊が配置されるなど政治都市としての緊迫感が感じられました。各地の歴史文化遺産、施設の見学では、日本に親しみの深い韓国文化の中に、その奥の深さを感じたと思います。

末筆ながら、慶山市並びに巳洞中学校の訪問に際して、大変丁寧な心温まる歓迎を受けました。ここに改めて感謝と敬意を表するとともに、団員の皆さんが生涯にわたり親善と友好の気持ちを大切にされることを期待するしだいです。併せて、城陽市の多大なるご協力に心から感謝いたします。

2007年度中学生韓国派遣団団長
城陽市国際交流協会副会長

高橋 正典



慶山市のマスコット 「ペプリ」

～親切な友人となり私たちを愛し育ててくれる「分かち合い」～

「ペプリ」は一つ以上に分けるという意味で、演算記号の割り算「÷」の形をしています。この名前には「分かち合う」という韓国語と「友人になる」という英語「Be friend」の2つの意味があります。隣人と分かち合い助け合う情深い慶山市民、また教育と産業、文化の調和を表しています。

編集・発行：JIEA 城陽市国際交流協会

〒610-0121 城陽市寺田西ノ口7-4 西邦ビル2階

TEL：0774-57-0713 FAX：0774-55-0560

Eメール：office@jiaa.jp ホームページ：http://www.jiaa.jp/